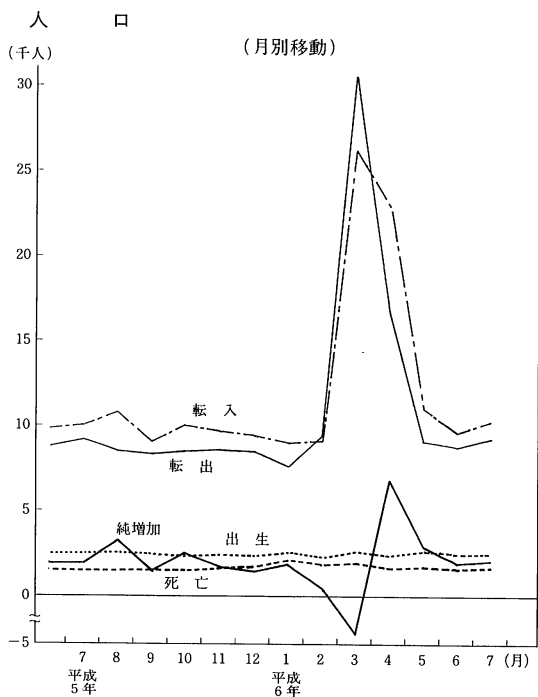
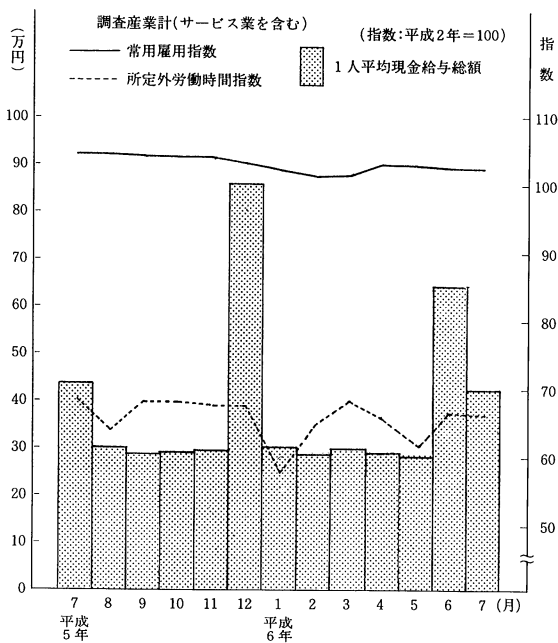


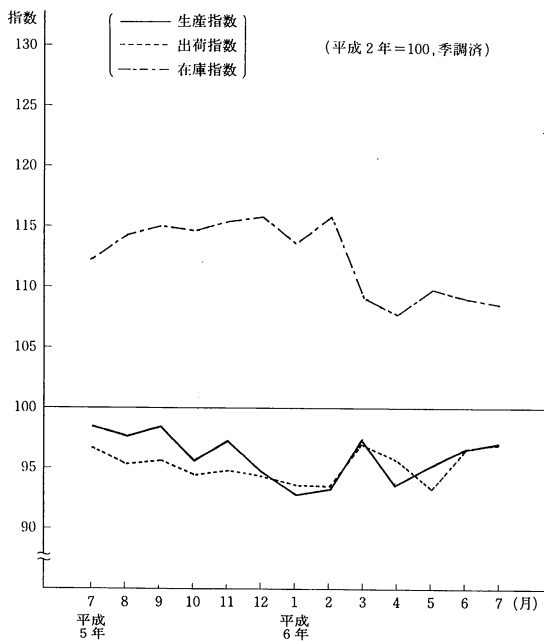
# 今月の主な動き



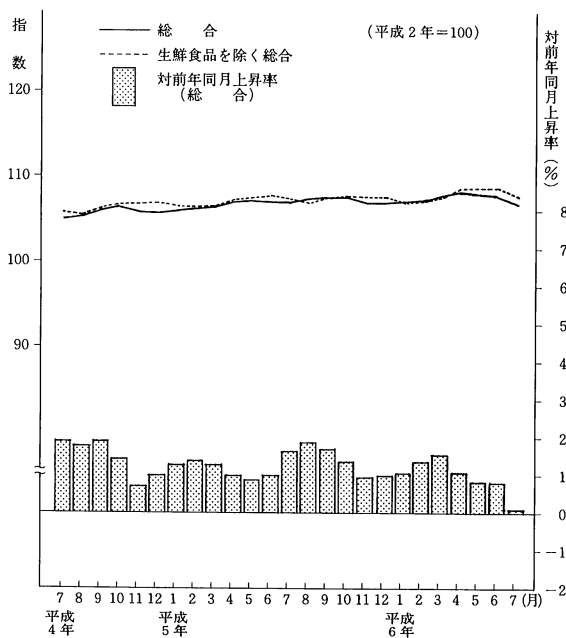
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (8月1日)

本県の人口は、7月中に1,986人増加し、8月1日現在で、2,943,791人(男1,472,010人、女1,471,781人)となった。

内訳は、自然動態で999人(出生2,491人、死亡1,492人)増加し、社会動態で987人(転入10,216人、転出9,229人)増加した。前年同月と比べると21,792人(0.74%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市46町村、減少が5市20町村、増減なしが1市1町である。

世帯数についても7月中に、1,096世帯増加し909,746世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (7月)

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で437,493円、対前年同月比0.3%減、このうち、きままって支給する給与は301,102円、対前年同月比2.7%増であった。また、このうち、所定内給与は275,667円、対前年同月比3.1%増であり、超過労働給与は25,435円、対前年同月比2.9%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.3%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての間合せにも応じます。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で166.0時間、対前年同月比1.6%減であった。このうち、所定内労働時間は153.1時間、対前年同月比1.5%減、所定外労働時間は、12.9時間、対前年同月比3.8%減であった。

3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.6%減であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (7月)

本県における平成6年7月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が97.2、出荷が97.1、在庫が108.4で、前月比は、生産が0.5%の上昇、出荷が0.4%の上昇、在庫が0.6%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が1.3%の低下、出荷が0.3%の上昇、在庫が3.3%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業、一般機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、精密機械工業、繊維工業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業、化学工業、一般機械工業等が上

昇し、精密機械工業、鉄鋼業、石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では、鉱業、化学工業、精密機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、鉱工業用生産財、耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財が低下した。出荷では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、建設財、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、資本金、鉱工業用生産財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (7月)

平成6年7月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.6(平成2年=100)となり、前月比0.7%の下落、前年同月比0.1%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……油脂・調味料0.9%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着9.4%、衣料5.8%、野菜・海藻3.2%、魚介類2.4%、生地・他の被服類2.3%、調理食品1.4%

生鮮食品を除く総合は107.7となり、前月比0.6%の下落、前年同月比は0.8%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	106.6	△0.7	0.1	保健医療	103.0	△0.2	0.4
食 料	104.7	△0.7	△1.1	交通通信	99.4	0.1	△1.1
住 居	115.7	0.3	2.1	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.7	0.0	△0.4	教養娯楽	109.0	0.2	0.1
家具・家事用品	99.8	△0.3	△1.1	諸 雑 費	104.3	△0.2	0.4
被服及び履物	110.2	△5.7	1.6	生鮮食品を除く総合	107.7	△0.6	0.8